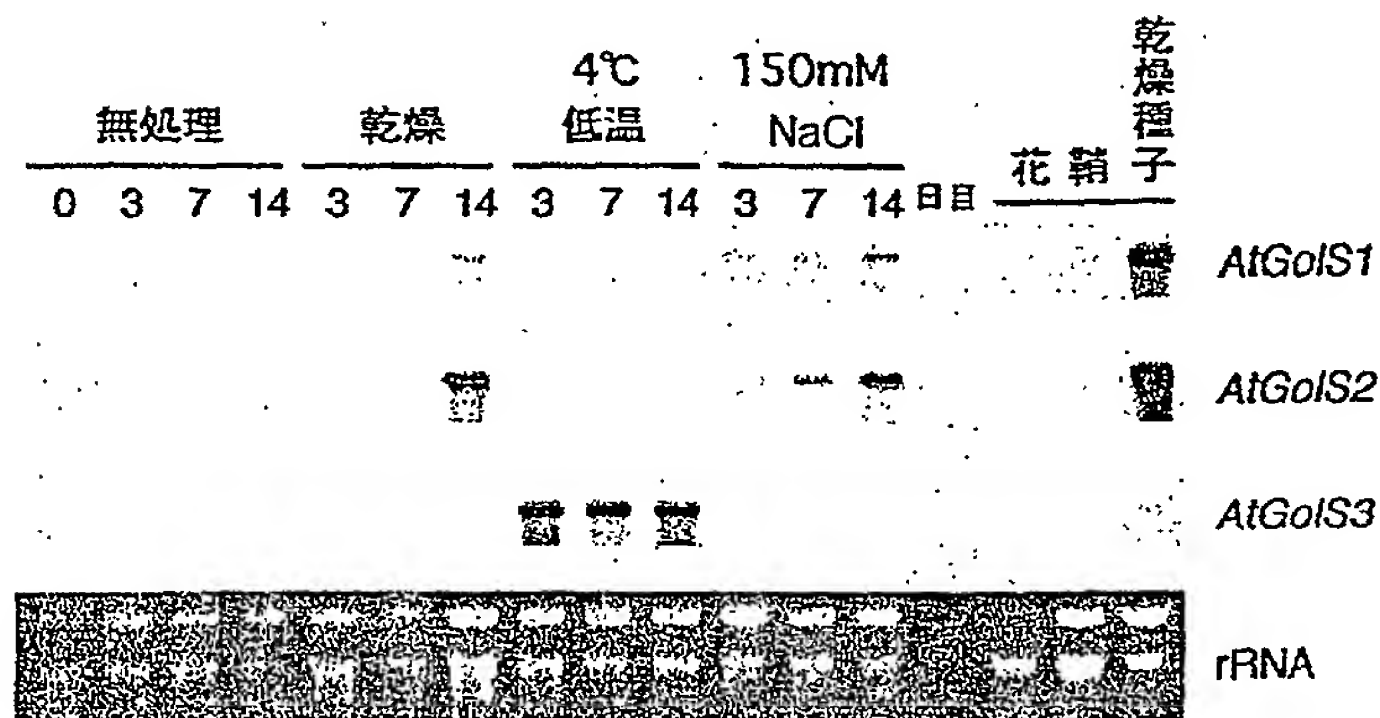


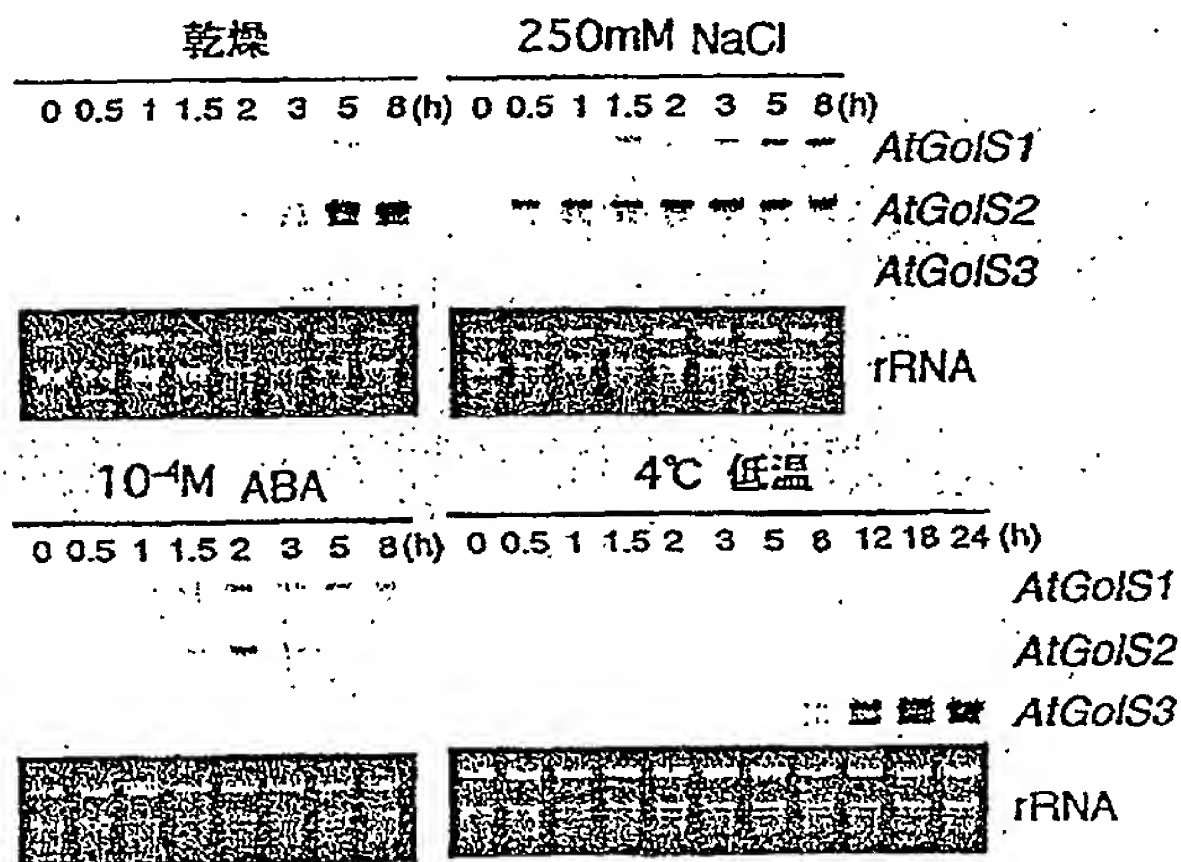
【図 1】

各種ストレス下（土植え）および組織別でのAtGolS遺伝子の発現解析



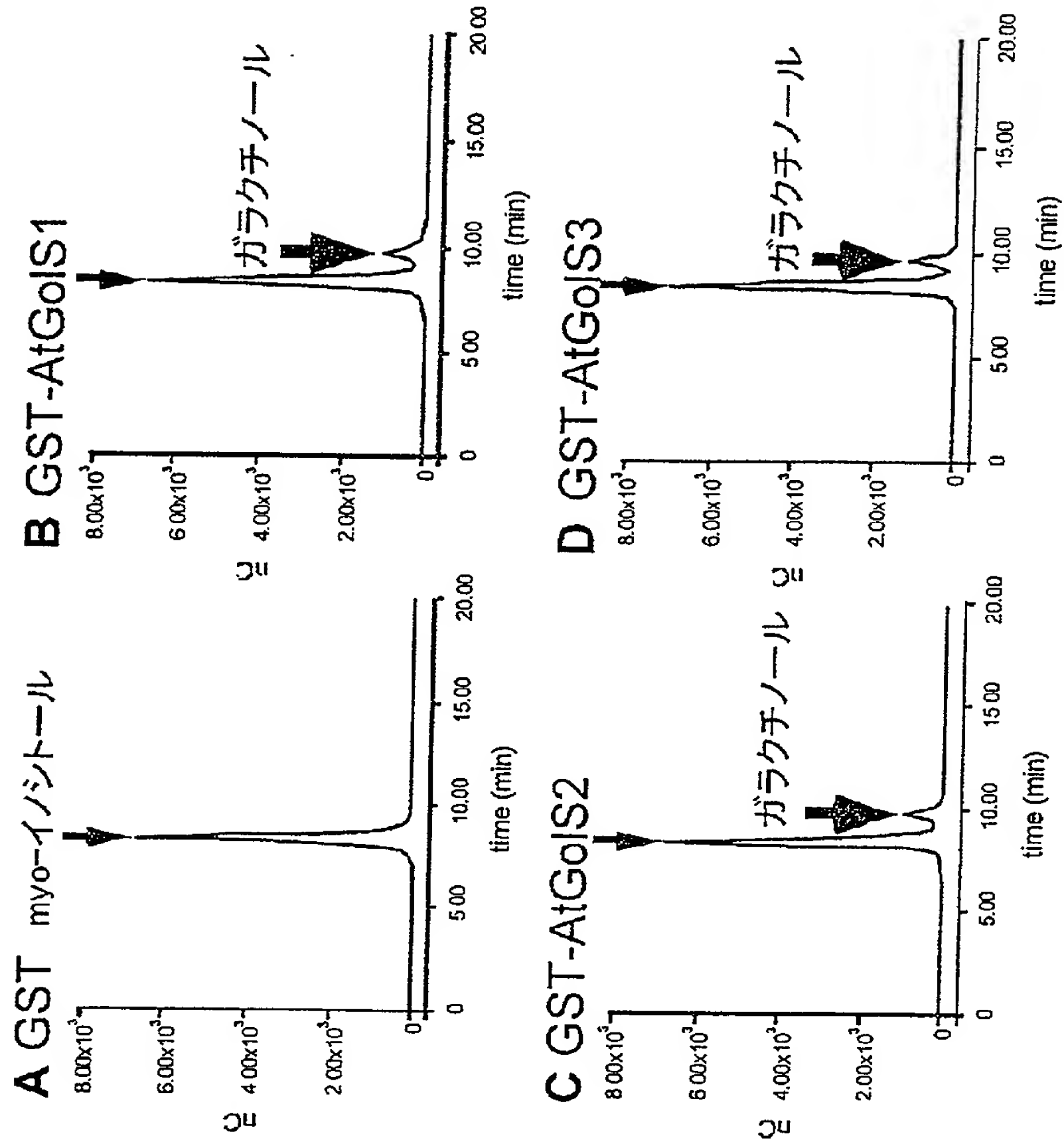
【図 2】

各種ストレス下（プレート）におけるAtGolS遺伝子の発現解析



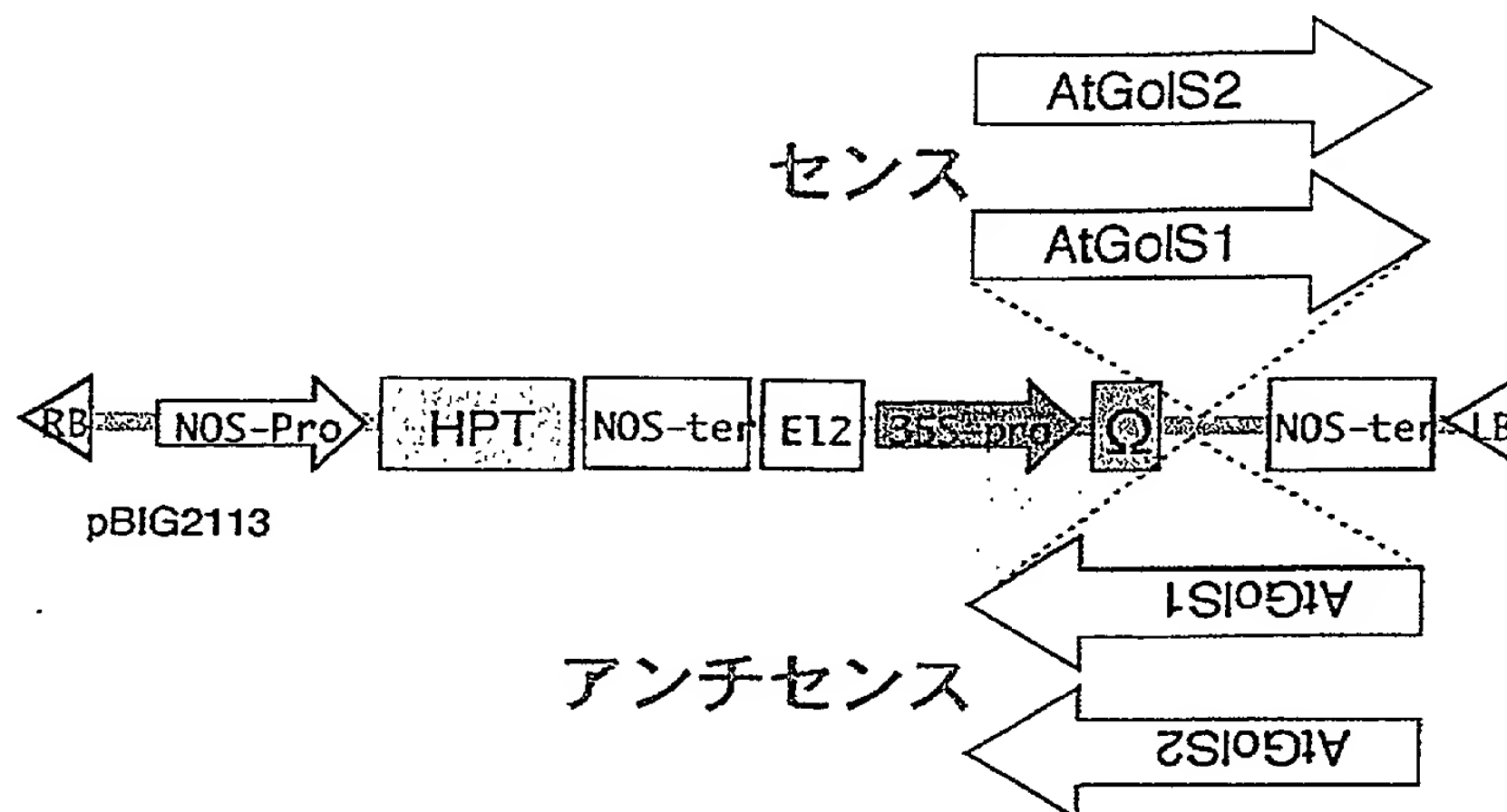
【図 3】

GST-AtGolS タンパク質の酵素活性



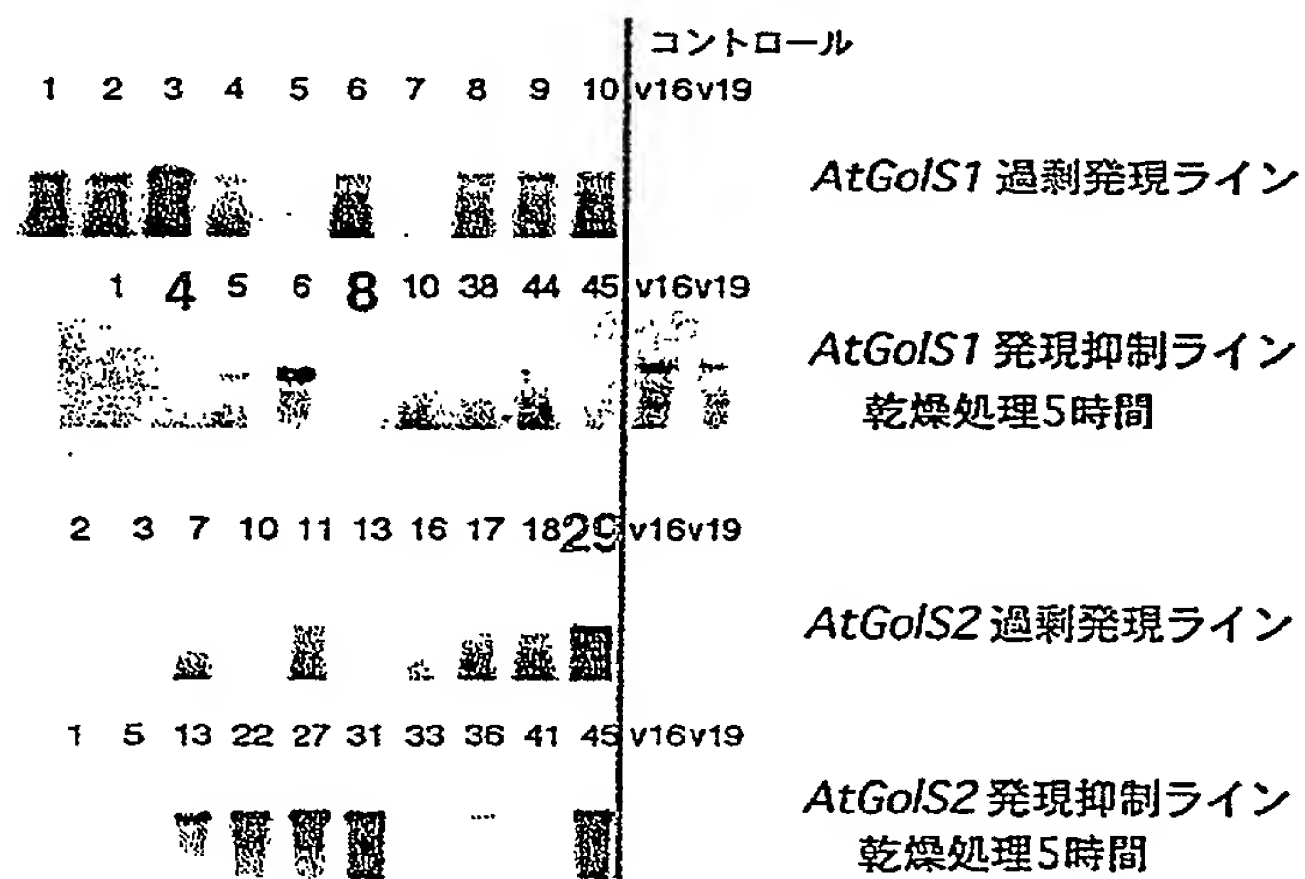
【図 4】

形質転換植物作成用コンストラクト



【図 5】

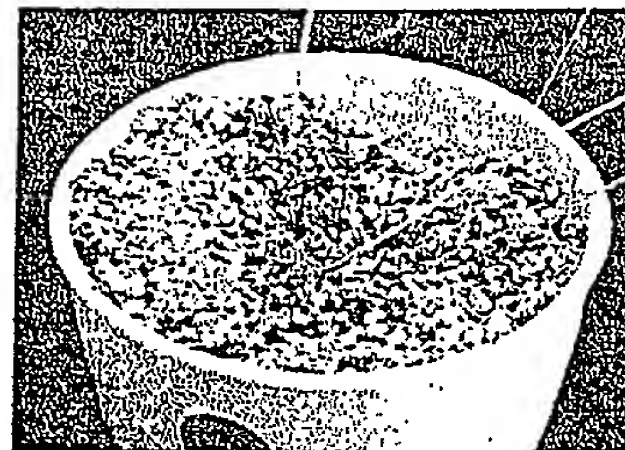
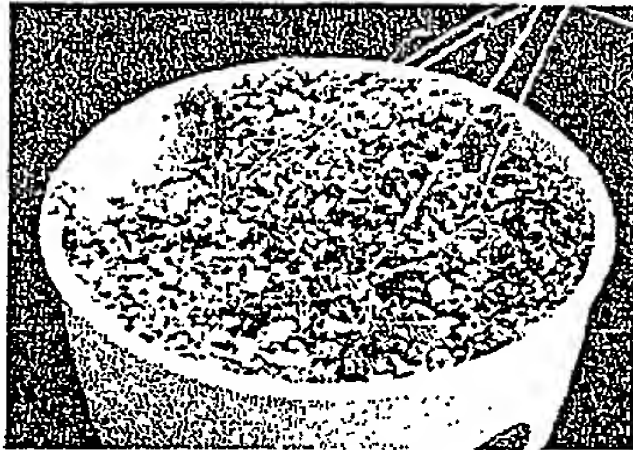
トランスジェニック植物における導入遺伝子の発現量



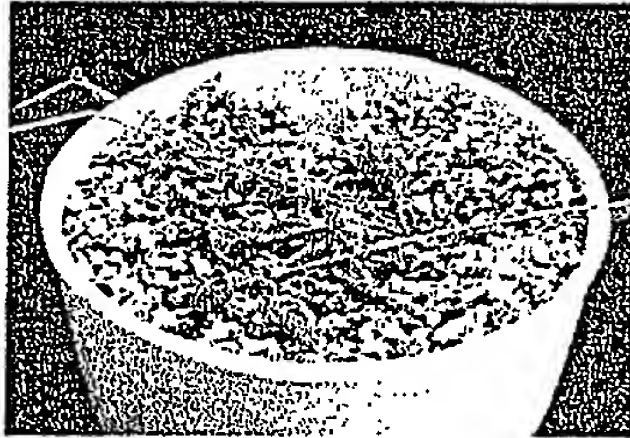
【図6】

乾燥処理16日目

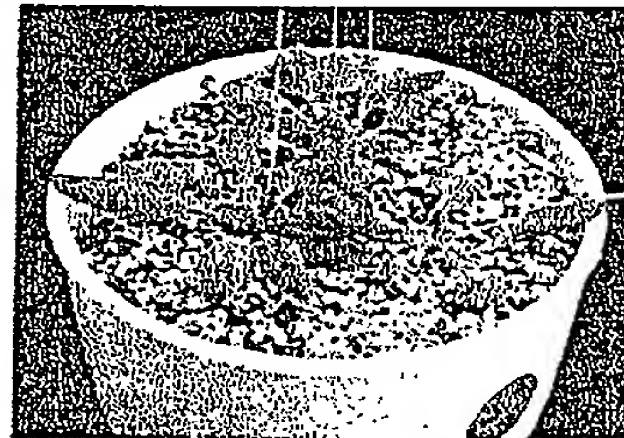
AtGolS1 発現抑制ライン4 *AtGolS1* 発現抑制ライン8



ベクターコントロール



AtGolS2 過剰発現ライン29



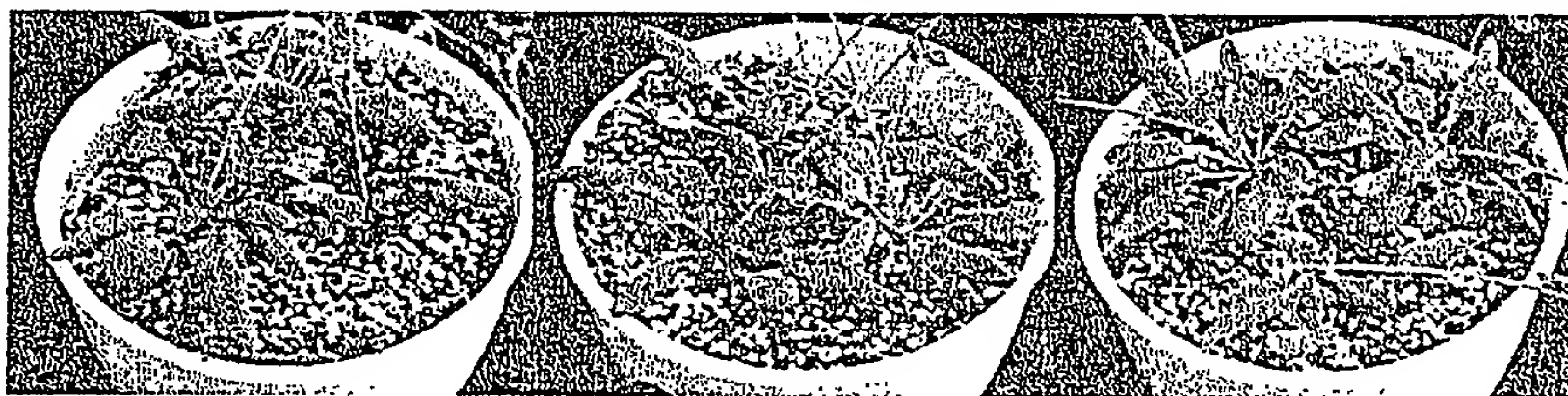
【図7】

乾燥処理17日後，再吸水

ベクターコントロール



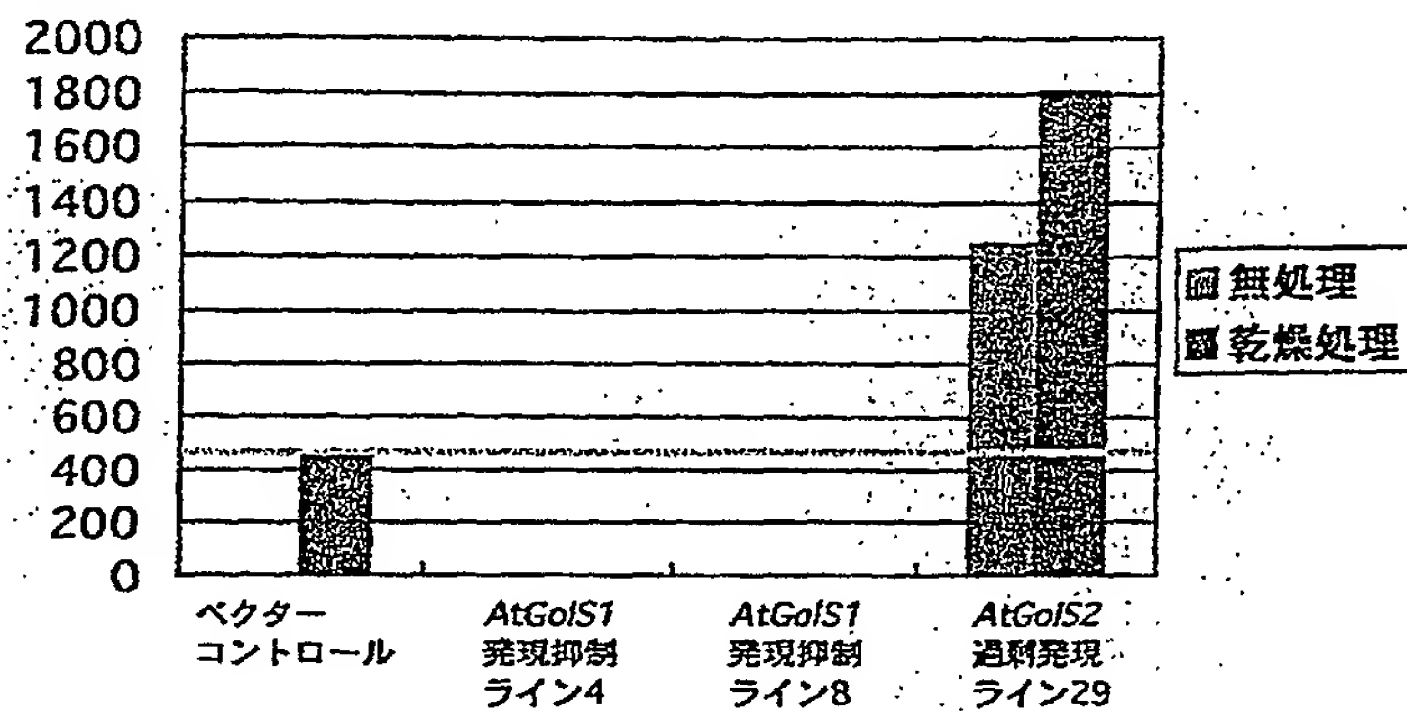
AtGolS2 過剰発現ライン29



【図8】

トランスジェニック植物のgalactinol含量

nmol/g F.W.



【図9】

乾燥処理14日目における土植えポットの水分含有率

